

会計担当理事

ダイバーシティー推進委員会委員長



この度、引き続き理事会の一員として活動させていただくことになりました国立精神・神経医療研究センターの村松里衣子と申します。前期に引き続き、会計担当理事を拝命いたしました。今期は、ダイバーシティー推進委員長も担当させていただくことになりました。どうかよろしく願い申し上げます。

私は2008年に大学院（東大院薬）を卒業した後、大阪大学医学部の解剖学教室（山下俊英教授）で神経回路の傷害や修復の研究に携わりました。2018年に現所属機関で研究室を構える機会をいただき、引き続き神経回路の傷害や修復、特に脳と他臓器・システムとの連携に関して研究を進めております。私が日本神経化学会に入会したのはポストドク時代ですが、それ以降の研究成果は、様々な形で日本神経化学会でも発表させていただきました。また研究成果の発表だけではなく、日本神経化学会では複数の委員会や若手育成セミナーなどに関わる機会もいただき、要所要所で多くの先生方から様々なご指導をいただき、大変感謝しております。前期より継続することになりました会計に関しては、前会計担当理事である馬場広子先生と事務局より多大なサポートをいただきました。ようやく状況を理解しつつあるように思いますので、引き続き学会の財政の安定化に貢献して参りたいと存じます。

ダイバーシティー推進委員会については、前委員長の東田千尋先生はじめ委員の先生方のご尽力により、学会の継続的な取り組みが整理整頓され、日本神経化学会の目指す方向性が明確になっているように存じます。これまでの委員会の方針を引き継ぎ、そして次世代へ継承するため、今期は少し若い方にも委員としてのお力添えをお願いしております。新しく委員になった先生方と協力して、ダイバーシティー推進に努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 神経薬理研究部
村松 里衣子